

ちょっと聞いてや!!

◇Facebookのススメ

ソーシャルネットワーキングサービス(通称SNS)の事が騒がれて、はや数年が経つ。

日本ではmixiなどが有名だったが、今は何と云ってもFacebook(以後、Fb)である。

たまに「なんでFbやってるの?」「よくそんな時間あるね」と言われる事がある。

はっきり申し上げますと「関心があるなら、とりあえずやってみてから意見を下さい」である。

普段、私たちはいろんな肩書きを持っている。私の場合、父親、夫、設計事務所代表、テニスコーチ、白石家の長男、保護者会会長、中央会会員…等があるが、結局は「白石博昭」というひとりの人間がどういふ男なのか?が一番大切なのだ。何を食べ、どう感じ、何を考え、どう行動したかを日頃から知ってもらわないと、相手には何も分かってもらえない。それを自然と伝え合い、「いいね!」で共感し合うのがFbなのである。

相互理解と協調。Fbはまさに中央会のためのツールだ!

(県出向:白石 博昭)

新入会員オリエンテーション開催



委員会の会員が各パートごとにわかりやすく説明された。

内容は、

- 西部青年中央会の位置づけと組織
 - 中央会共済
 - トリアスロン皆生大会との関わり
 - 選挙活動に対する方針
 - 年間の活動内容・関連団体
 - OB会との関係
 - 周年事業
 - 広報誌、ホームページについて
- 質疑応答の後、北口直前会長より「基礎は後に大事になってくる。内容のよいオリエンテーションであった。」と総評されオリエンテーションは閉会となった。

中央会の歴史を含め、この度の講義をすべて理解するのは難しいと感じている。しかし、積極的に中央会の活動に参加することで、たくさんの人に出会える機会がある。言動するために勉強をし、言動をおこした事により周りから指摘され、振り返るというサイクルで自身の「成長」につなげるように頑張っていきたい。

(記事:角田)

12月度委員会報告

人間力開発委員会

平成23年12月8日(木)於:米子コンベンションセンター 出席者/15名

- 議題/
- ・役員会報告
 - ・松江YEGとの交流事業経過報告
 - ・新入会員オリエンテーション開催協議

政治経営委員会

平成23年12月8日(木)於:元気亭 出席者/15名

- 議題/
- ・役員会報告
 - ・2月例会について
 - ・会員拡大について

地域ビジョン委員会

平成23年12月8日(木)於:炉端かば 米子店 出席者/18名

- 議題/
- ・役員会報告
 - ・12月例会について

広報委員会

平成23年11月7日(水)於:稲田屋本店 出席者/14名

- 議題/
- ・役員会報告
 - ・ハンサム発行について
 - ・11月担当例会反省
 - ・下期の取り組みについて

総務委員会

平成23年12月7日(水)於:米子コンベンションセンター 出席者/18名

- 議題/
- ・役員会報告
 - ・1月新年例会について
 - ・会員拡大について
 - ・その他

1月役員会報告

1月役員会が平成24年1月6日(金)米子食品会館にて開催されました。

- 当日の主な議題は以下の通りです。
- ・12月例会開催報告
 - ・1月新年例会開催の件
 - ・2月例会開催の件
 - ・会員拡大会議の件
 - ・その他

*なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

1月新年例会案内

と き:平成24年1月17日(火) 19:00~21:00

と ころ:米子全日空ホテル

内 容:新年例会(賀詞交歓会・アトラクション他)

担 当:第37期総務委員会

新入会員

森下 知紀 A型
西尾レントオール(株)米子(営) 営業所所長
建機レンタル業
〒683-3547 米子市流通町25-15
TEL 27-5240 FAX 27-5350
H23.12(旧)23年度入会 (KT) 090-1352-3414
(推薦者) 長谷川(洋) (EM) motonori.morishita@nishio-rent.co.jp
盛政(春) S.49.04生

(コメント)
この度、新しく会員として入会させて頂きました。西尾レントオール(株)の森下です。
私は鳥取県出身ではありませんが、社会人になってから、初めての勤務地が米子市でした。それからの15年のほとんどを米子で過ごし、いろいろな方との出会い、助けて頂きました。その御恩を少しでも返せる様、また中央会の皆様のお役に立てる様、頑張りますので、御指導のほどよろしくお願い致します。

【掲載間違いのお詫び】

11月号(279号)の記事の新入会員紹介欄で、伊坂明会員の所属企業住所に誤りがありました。

ご本人をはじめ関係各位の皆様にご迷惑をおかけしました。深くお詫び致します。

【誤】:米子市皆生温泉4-18-4 【正】:米子市皆生温泉4-18-45

編集後記

「一年の計は元旦にあり」何事も計画することが大切ですという有名な諺です。私の解釈は、これに「まず振り返ること」を追加しています。みなさんはどんな計画をたてられましたか?減量に成功した私の次なる野望は…、秘密です。

(記事:高塚)

Handsome

Handsome CONTENTS January 2012

成長

巻頭記事 新年のご挨拶

12月例会開催

新入会員オリエンテーション

OB訪問

千代むすび酒造(株) 代表取締役 岡空 晴夫OB(第20期ご卒会)

12月例会を終えて

地域ビジョン委員会 委員長 長谷川 洋司

特集 企業紹介

(株)ホテルマネジメント米子 岩田 直樹 (米子全日空ホテル)

連載 委員会訪問 加藤 典史
ちょっと聞いてや!! 県出向 白石 博昭

1月例会へ向けて 総務委員会 委員長 福庭 貴志

相互理解と協調

2012.1 No.280

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 森脇 哲雄 編集責任者/担当 副会長 小川 敦弘 制作・編集 37期広報委員会/委員長 松尾 友雄 印刷所/東京印刷(株)

新年ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

本年度も無事に半期を終え、後半戦のスタートを切る事が出来ました。不安で一杯だった7月の総会から半年、この間非力な私を支えてくれた会員の皆さん、そして様々な形でご支援を頂きましたOBの諸先輩方をはじめ関係各位の皆様、心より厚く御礼を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

振り返ってみますと昨年は国内外を問わず、様々な自然災害に襲われた一年でした。とりわけ3月に発生しました「東日本大震災」、あの時テレビで見た映像は皆さんの記憶にも鮮明に残っているのではないのでしょうか?あの日から早や10ヶ月が経ちます。自衛隊や消防の他多くの方々のご尽力はあるものの、未だ復興の兆しも見えないのが現状です。被災された皆様へ改めてお見舞いを申し上げますとともに、迎えた本年が真の意味での「復興元年」になる事を心から祈念しております。

さて、「成長」をスローガンに掲げて活動してきた六ヶ月、会員各自振り返りの進捗はいかがででしょうか?私自身、入会以来の過去10年間では出来なかった貴重な経験を沢山させて頂きました。この経験を形に変え、会員の皆さんに少しでもお伝えし、今後の活動の糧として貰う事が残り半年間の私の目標です。初登壇の方針説明会でもお話ししましたが「中央会の活動はトレーニングの場、失敗してなんぼ!の青年の会」です。また失敗の数ほど人は成長するとも聞きます。本年も青年は青年らしく臆する事なく、いろいろな事にチャレンジしていきたいと思っておりますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。

また一方では、本年も続くであろう国内景気の低迷、それが我々の暮らす地方の経済に及ぼす影響はまさに「国難」と呼ぶに値するものだと思います。こうした難局に立ち向かう

鳥取県西部中小企業青年中央会

第37期会長 **森脇 哲雄**

にはやはり個々の力だけでは限界があるのもまた現実です。先の震災の報道を通じて各国のメディアは日本人の持つ「互助の心」を絶賛しました。改めて日本人である事を誇らしく思った事を覚えています。互いに理解し合い、尊重し合い、励ましあい…互助の心とはそうした中から生まれてくるのだと思います。

我々会員の最大の使命は、所属企業ならびに地域の発展に貢献する事です。まずは個人の成長を、そしてその力を「相互理解と協調」の下に結集する。更には叱咤激励・切磋琢磨しながら、互いの成長を助長し合える会に。気持ちを一つに、引き続き中央会活動をそして各々の企業活動を頑張っていきたいと思います。

本年が会員の皆さんとそのご家族、そして所属企業の皆様にとって素晴らしい一年になりますようお祈り致しますとともに、OBの諸先輩の皆様ならびに関係各位の皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



12月例会開催

平成23年12月14日
ホテルサンルート米子

冒頭、森脇会長より「本日は委員長が上半期の反省と下半期の決意表明をする。目標がないと成功も失敗もない。各会員もこれまでを振り返り来年の目標を立てよう。」と挨拶をされた。続いて新入会員の森下知紀会員にバッジが授与された。今例会は2部構成で行われ第1部は委員長による「委員会活動の振り返りと決意表明」を発表された。※発表内容は「37期委員会活動振り返りと下期に向けて」をご覧ください。



上期のまとめとして森脇会長より「各委員長の発表は皆で共有してください。出来る事は、もっとあるはず。これを機に下半期は思い切った活動をして成長していく。」と総評を述べられた。

続いて第2部の忘年会では、まず第32回トライアスロン皆生大会の岩田実行委員長と選手4名の紹介があった。



続いてオークションが行われ、長谷川委員長の迷司会ぶりで思わぬ高額で落札される商品もあり大変盛り上がった。そして委員会対抗戦では、「腕相撲対決」、「ガリガリ君早食い対決と力自慢」、甘党男子の揃った広報委員会が共に1位となった。そして三役による、「たいていかぶってジャンケンポン」では森脇会長が貫禄の優勝を果たした。

最後はカラオケ大会。各出演者とも趣向



を凝らし会場は爆笑の渦となった。最終結果はカラオケの芸術ポイントで稼いだ地域ビジョン委員会が見事優勝をした。

最後に土岐副会長が「活気のある中央会を実感した。後半もこの勢いで乗り切ろう。その前に年末年始は皆さん家族サービスをする事を約束してください。」と挨拶をされ、今年を締めくくった。

(記事:西村)

37期委員会活動振り返りと下期に向けて

人間開発委員会 横山委員長
政治経営委員会 谷口委員長
地域ビジョン委員会 長谷川委員長
広報委員会 松尾委員長
総務委員会 福庭委員長



「知行合一をテーマに活動をしてきた。知っているても行動をしないと知っているとは言えない。会は格好の学びの場。私自身も含め委員会メンバー全員が、この事を念頭に人として成長すべく下半期も行動をしていく。」



「今回は政治行政ではなく政治経営、ビジネスにも目を向け総合特区について学びオープン委員会を開催した。3月の総合特区の審査では当委員会オリジナルの構想を提案する。」



「障がいのある方のかかわりをテーマに活動をした。難しい内容だが、知らずして出来ないのではなく知って学んで出来るか出来ないかを判断していく事が重要。企業人としてどう向き合うかを考えていく。」



「ハンサム発行などのルーティンワークと並行して、過去のハンサムのアップなどHPの充実を図った。また文章校正などの勉強会を行った。下半期は広報委員会らしいビジネスの手法を提案していく。」



「中央会・自社・自身が成長をするWin・Win・Winを目標に活動をした。新年例会はお正月らしく華やかな雰囲気にする。そして下半期はベテラン会員に活躍していただくと思う。」

12月例会を終えて...

地域ビジョン委員会 委員長 長谷川 洋司

12月例会&忘年会皆様楽しんでいただけましたでしょうか?「メリハリのある内容で頼むよ」と森脇会長より程よいプレッシャーをいただきながら取り組みました。

第1部では会員の皆さんに各委員会の取り組みや委員長の思いを感じていただけたのではないのでしょうか?そして第2部の忘年会では委員会対抗戦にて委員会メンバーが更なる懇親を深め、下半期の活動に繋げていただけの盛り上がりをはかることができたと感じました。また団結した時の中央会のパワーは恐るべきものがある事を改めて感じる事ができました。そして最後に三役をはじめ委員長、会員の皆様にはご協力いただき本当にありがとうございました。

企業紹介

株式会社ホテルマネジメント米子
(米子全日空ホテル) 岩田 直樹



2003年6月に山陰のランドマークホテルとして開業いたしました。

宿泊は、ビジネス・観光の拠点としてハイグレードなひとときを提供させて頂いております。米子市最大級の規模とヨーロッパ邸宅をイメージした宴会場をはじめバリエーションに富んだ大小5つの宴会場では、セレモニーを華麗に演出する設備をはじめ、心を込めたお料理とおもてなしであらゆるご宴席のプロデュース。レストランでは山陰ならではの新鮮な素材を最高の技と空間でご提供しております。

1月例会に向けて



平成24年、幕開けの事業となる1月新年例会を担当します。

ご来賓の皆様とOB会員、現役会員に楽しく和やかな親睦の場を提供すべく、千石プロジェクトリーダーを中心に総務委員会メンバー丸となって昨年11月より準備してまいりました。新年を祝賀する演出として、お正月のイメージに華やかさを加えた内容で企画

しております。

まずは見事な書道パフォーマンスで活躍中の、鳥取県立米子西高等学校書道部と当会現役・OB会員が所属する鳥取岳風会との書道吟にて花を添えて頂き、新年例会がスタートいたします。もちろん恒例の新入会員による自己PRの時間もごさいます。その他ご紹介したい演出がございますが、せっかくですので当日の楽しみにしていただければと思います。

1月新年例会が平成24年皆様のご活躍のための活力の一助となれば幸いです。
(総務委員会 委員長 福庭 貴志)

OB訪問

千代むすび酒造(株) 代表取締役
岡空 晴夫OB (第20期ご卒会)



第20期ご卒会の千代むすび酒造(株)代表取締役 岡空晴夫OBを訪問し、現在の事業状況と独自の取り組みについてお話を伺いました。

「大手との競争を避け、地元の良い素材を活かした高級志向の商品を押し出す事で、差別化を図っている。」

「日本酒は昭和51年に需要のピークを迎え、現在までにその需要量を減退させたが、欧米に於けるヘルシー志向の流行と和食の普及との相乗効果により、海外でも高級で美味しい日本酒が売られるようになった。現在ではアメリカ、DBSクルーズフェリー一航路に合わせた韓国などに直売店を置き、居酒屋や割烹料亭などへ卸している。」

「海外取引には為替リスクや事故が必ず発生する。パワーバランスとして地元4:県外4:海外2を維持している。やはり地元のお

客様は大事。」

そして特筆すべきは酒造メーカー主導によるイベントに関するお話です。

「酒造りとその存在意義、飲み方、相性の良い料理を学ぶ日本酒の啓蒙活動を定期的に行っている。『百葉の長』"人生の潤滑油"を提供する側として、お酒による心身の健康と幸せをつくる提案を続けていきたい。」

「日本酒とは伝統文化そのもの。落語や音楽をはじめとする異文化との組み合わせを行う事で文化継承を図り、また自社ブランドの強化と販路拡大、またお客様との距離感を肌で覚える社員教育の場として今後も企画していく。」最後に現役会員へのメッセージとして、こう締め括られました。「右手に夢と希望、左手にそばん(したたかな商魂)を持ちなさい。仕事に対する情熱に一本骨を通し、他者の利益をも考えられるように。」

酒蔵を開放して開催する「妖怪寄席」も、次回で記念すべき第10回を迎えます。イベントの成功と益々のご発展を心よりお祈りします。
(記事:長谷川)

中央会をふりかえって...

加藤 典史 会員
(H08.10入会)



平成8年。結婚、脱サラをして家業を継いだ30歳の年に、中央会へ入会させていただきました。入会すぐの忘年例会で、新入会員恒例の余興にピンクレディーを振付けつきで披露したのを覚えています。あれから16年が経ち、その間に家族が増え(14歳、11歳)、自分もほぼ45歳になりました。

会で偉い人になったら、会員手帳の写真をやや斜めから撮った写真に差し替えようと思っていましたが、結局今も30歳の写真のままです。入会して一番良かった事は、推薦者の2名からスタートして、今では先輩、後輩をはじめその他沢山の方と知り合えた事だと思います。諸先輩方からは独学では知れなかったことを教えていただき、また参考にさせていただき、今の自分があると思います。

子供が小さい頃は、先輩方からいろいろな親睦にお誘いいただき、家庭不和の原因にもなりましたが、今では「働きバチは留守がいい」と快く送り出して貰えるまでに成長しました。また、副委員長、委員長、幹事にご推挙いただいた方々には感謝いたしております。行き届かない所も多々ありましたが、おかげさまで大きく成長出来た年だったと思います。

現在の仕事・家庭・中央会が約16年もの間一緒に歩んできましたので、中央会のない生活は多分少し物足りない感じがするかも知れませんが、長年の現役生活で「体力の限界!」千代の富士状態であることも確かです。今度の担当例会や卒会者自ら幹事をさせていただく予定の委員会の打ち上げを、最後の力を振り絞って頑張ります。

委員会訪問

~広報委員会~



平成23年12月7日(水)に稲田屋米子店で開催された広報委員会の模様について報告いたします。

松尾委員長による役員会報告に始まり、定番のハンサム誌製作に関する紙面割・担当振り、各班に分かれスピーチに完了させました。後半は、担当委員会として取り組んだ11月委員会についての感想と反省を、各メンバーから発表し合い、多様な観点からの意見交換が行われました。

続いて委員長から、下期の取り組みについての説明があり、担当例会で講師先生の講演から得た「気づき」を基に、今度は実際に行動してみる計画案が披露されました。活発な議論の末、「ダイレクト・マーケティング」というテーマに絞り、実践を通して「成長」を目指し、一致団結して取り組むことでメンバーも納得し、下半期の取組みになりました。

37期の折り返し時期に、新たな目標に向けスタートを切った広報委員会の活動にご注目下さい。

(記事:徳尾)